

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口から徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅」東口からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタ サイエンスドーム (八王子市こども科学館)	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から駅直結 ② 京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分 ② JR 中央線「八王子駅」より大和田、東海大学病院経由宇津木台行き「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
9	福生市郷土資料室	JR 青梅線「牛浜駅」東口から徒歩 7 分
10	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
11	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上台北駅」から武蔵村山市内循環バス「かたくりの湯」下車徒歩 1 分分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
12	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車徒歩 20 分
13	日野市郷土資料館	① 多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ② 多摩モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
14	日野市立新選組のふるさと歴史館	① JR 中央線「日野駅」から京王バス高幡不動駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分 ② 京王線・多摩都市モノレール「高幡不動駅」から京王バス日野駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分
15	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
16	帝京大学総合博物館	① 多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ② 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」から京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
17	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
18	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
19	国立ハンセン病資料館	① 西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ② 西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分 (いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
20	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分、JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館」下車すぐ
21	たましん歴史・美術館	たましん歴史・美術館：JR 中央線「国立駅」南口前/たましん美術館：JR 中央線「立川駅」北口より徒歩約 6 分
22	パルテノン多摩	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
23	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
24	町田市立自由民権資料館	小田急線・JR 横浜線「町田駅」から町田バスセンター 11 番乗り場発「藤の台団地」「鶴川団地」「鶴川駅」行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
25	町田市民文学館ことばらんど	① 小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分 ② JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩 8 分
26	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分館河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森門前」下車すぐ
27	小平市鈴木遺跡資料館	① 西武新宿線「小平駅」南口から西武バス武蔵小金井駅行き、もしくは JR 中央線「武蔵小金井駅」から西武バス小平駅南口行き「回田本通り」下車徒歩 5 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」から立川バス「国分寺駅北口」行き「共済住宅」下車徒歩 10 分
28	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
29	江戸東京たてももの園	① JR 中央線「武蔵小金井駅」北口バス 2 番 3 番停留所からバス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」南口より徒歩 5 分「南花小金井」(小金井街道沿い) 停留所から「武蔵小金井駅」行きバス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
30	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」南口から徒歩 9 分
31	清瀬市郷土博物館	① 西武池袋線「清瀬駅」北口から徒歩 10 分 ② 西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
32	多摩六都科学館	① 西武新宿線「花小金井駅」北口から徒歩 18 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」からはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
33	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
34	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① JR 中央線「三鷹駅」南口または「武蔵境駅」南口から小田急バス「国際基督教大学」行きにて終点下車 ② 武蔵境駅からタクシーで 10 分
35	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」から徒歩 12 分 ② JR 中央線「武蔵境駅」北口からムーバス境西循環に乗りし、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
36	日本獣医生命科学大学付属 ワイルドライフ・ミュージアム	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口から徒歩 2 分
37	狛江市立古民家園 (愛称: むいから民家園)	① 小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」から徒歩 10 分 ② 小田急線「狛江駅」北口から「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

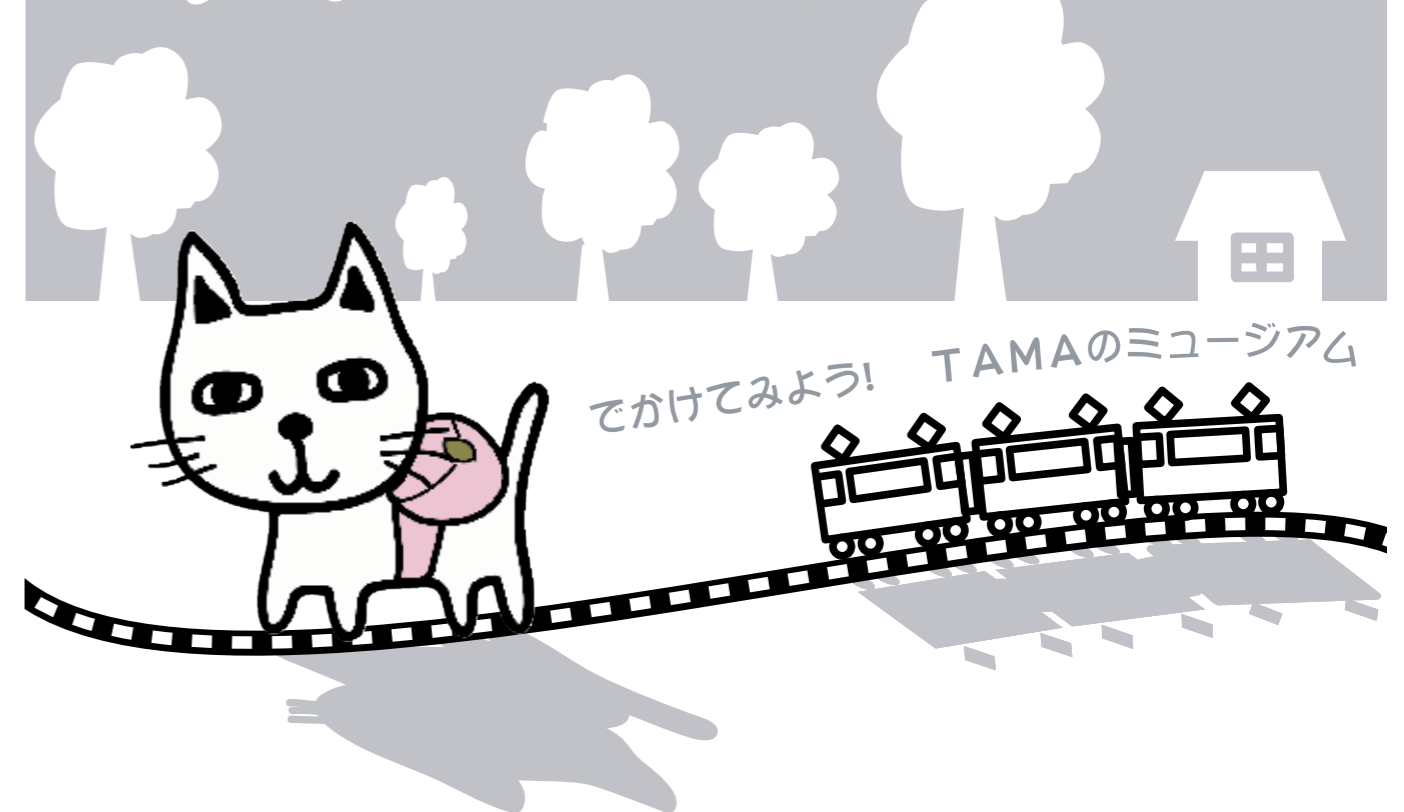
多摩の博物館さんぽ 2021 年度秋・冬号 (11 月～3 月 催し物案内) 10

三多摩公立博物館協議会

催し物案内2021年度秋・冬号

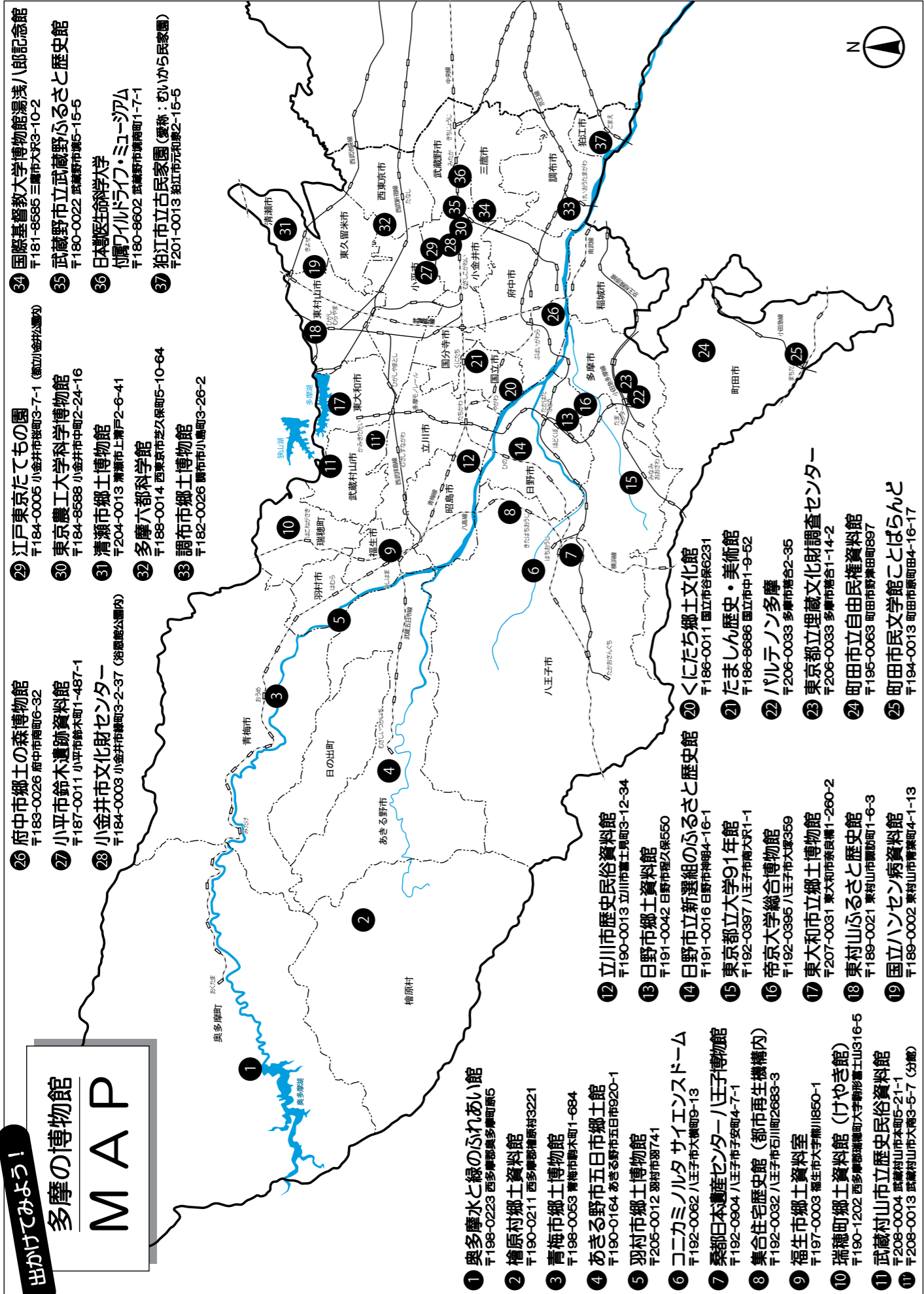
2021年11月～2022年3月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。
多摩地域の博物館をめぐってみませんか！

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

33 調布市郷土博物館 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	-----------------------------------	-----	----	---	--------------

●企画展「川と水のある暮らし～多摩川・野川と調布～」(10.5～12.12) 調布では、市域を流れる多摩川や野川などの河川、崖線の湧水にいたるまで、豊富で良質な水が地域の暮らしや文化を支えてきました。本展では、まだ調布市域が農村だった頃の生産活動で使われた農具、多摩川の漁具、渡船の道具などの民俗資料を中心に川と水のある調布の暮らしの姿を紹介します。
●郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(1.12～5月中旬) わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、来館時のマスク着用、手指の消毒及び入館票の記載にご協力をお願いいたします。なお、当面の間人数制限を設けての開館となります。最新の入館条件等については、ホームページ・ツイッターでお知らせいたします。
【URL】 <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

34 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	13:00～17:00(1/12～3/2の毎週火曜のみの限定開館)	休館日	1/12～3/2の毎週火曜以外は休館	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	-----------------------------------	-----	--------------------	-----	----	---	--------------

●特別展「湯浅記念館コレクション展Ⅴ」(1.18～3.1) 毎週火曜日 13:00～17:00 の限定開館(要予約)。
●第114回公開講座「タイトル未定」(1/29) 湯浅記念館館長ロバート・エスキルドセン(本学教授)による講演会。
Zoom ウェビナーにて開催いたします。
【URL】 https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/
【Twitter】 https://twitter.com/ICU_museum 【YouTube】 <https://www.youtube.com/channel/UCg4-j0CyCngzMGkfHbKdJg/>

35 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜・祝日・年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	------------	-----	----	---	--------------

●企画展「武蔵野の名所」(10.9～12.28) 錦絵や地誌などさまざまな資料から、武蔵野市域とその周辺の名所の成り立ちや移り変わりを紹介します。
●特集展示「没後50年 野田九浦展」(10.24～11.25) 市が寄贈を受けた作品と未公開の下図等の関係資料をもとに野田九浦の画家としての歩みを展示します。
●特集展示「都立井の頭恩賜公園の開園」(11.28～2.3) 都立井の頭恩賜公園は大正6年(1917)に開園しました。井の頭池周辺地域を公園として整備した目的やその経過について解説します。
●企画展「武蔵野のくらし」(仮) (1.15～4.21) 武蔵野市域の人々のくらし、どうぐの移り変わりについて紹介します。
●特集展示「井の頭と歴史公文書」(2.20～4.14) 明治22年(1889)以来村・町・市役所で作成されてきた文書には、様々な情報が含まれています。歴史公文書から「井の頭」を紹介します。
【URL】 http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

36 日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム 工事のため休館中

開館時間	事務室営業時間 火曜日～金曜日 8:30～17:00/土曜日 9:30～18:00	休館日	日・月曜・祝日 年末年始・大学の定める休日(その他臨時休館あり)	入館料	無料	☎	0422-31-4151
------	--	-----	-------------------------------------	-----	----	---	--------------

展示室が設置されている本学一号棟の周辺環境整備工事に伴い、長期休館を実施しています。展示再開は2022年度内を予定しております。※今後の状況により、休館日程が変更になる場合がございます。
●一号棟について 本学一号棟は、「旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号棟)」の名称で、国の登録有形文化財(建造物)に認められた建物です。1909年に竣工した旧東京市麻布区役所庁舎を前身とし、1937年に現在の場所に移築して以来、学校校舎として活用を続けています。
●休館中の情報 最新の情報は大学公式サイト博物館ページをご覧ください。博物館公式Facebookで活動日誌や資料解説を公開しています。
【URL】 <https://www.nvlu.ac.jp/> (大学公式サイト)

37 狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園) 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日(休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--------------------------------------	-----	----	---	--------------

●年中行事展示 十五夜・十三夜にはお月見飾り、正月にはまゆ玉飾り、桃の節句にはひな人形の展示を予定しています。
●イベント・教室 例年、伝統文化の体験教室や子ども向けの体験教室などを予定しています。詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。
【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html>

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

27	小平市鈴木遺跡資料館 日本を代表する旧石器時代遺跡である「国史跡鈴木遺跡」から出土した貴重な旧石器を展示・公開しています。						
開館時間	10:00～16:00	休館日	月曜日、火曜日、木曜日、金曜日、年末年始(12.27～1.5)	入館料	無料	☎	042-323-2233
<p>●常設展示 国史跡「鈴木遺跡」は、都内最大規模の旧石器時代遺跡です。出土した旧石器の分析の結果、約2.2万年間にも及ぶ日本の後期旧石器時代初めから終末まで12の文化層の石器群が存在することが判明し、日本旧石器時代の移り変わりを明らかにしたことで名高い遺跡です。常設展示では、各時期ごとの石器群を古い方から年代順に並べて展示しています。また、数多く出土した黒曜石も時期と産地ごとに一目でわかるようまとめて展示しています。</p> <p>●パネル展「鈴木遺跡保存管理等整備事業 進捗報告展 ～鈴木遺跡の今、そして未来～(仮称)」(令和4年2～3月頃) 鈴木遺跡の国史跡指定地のうち、遺跡の中心部に位置する最も広大な「鈴木遺跡保存管理等用地」は、市では今後整備して一般公開を目指しています。本展示では、史跡整備事業の進捗状況についてパネル展示を行い、学芸員が解説します。</p> <p>【URL】https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html</p>							

28	小金井市文化財センター 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館期間(10月)、年末年始(12.29～1.3)	入館料	無料	☎	042-383-1198
<p>●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。</p> <p>●地域史講座「小金井市史をよむ」(12～2022.3月:4回) ●企画展「鴨下製糸場展」(～2021.12.26)</p> <p>●ほか、武蔵小金井まちかど歴史ミュージアム(小金井市本町6-2-30)を実施中</p> <p>【URL】https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html</p>							

29	江戸東京たてもの園 江戸東京の歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに文化遺産として次代に継承することを旨とした野洲博物館						
開園時間	10～3月:9:30～16:30 4～9月:9:30～17:30 (入園は閉園の30分前まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌日) ※2022.3.22・28は臨時開園 年末年始(12.25～1.1)	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎	042-388-3300
<p>●展示室 「綱島家年中行事」大根干し(11月下旬～12月中旬)、小正月菰玉飾り(2022.1.12～1.26【予定】)、節分(2.3)</p> <p>●秋冬の催し ●定例の催し 伝統工芸の実演(12.11・12 江戸川区、2022.1.8・9 江東区、2.12・13 大田区、3.12・13 北区)</p> <p>「正月特別開園」(2022.1.2・3) ●ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。</p> <p>「成人の日はたてもの園へ」(1.10) ●ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。</p> <p>「たてもの園フェスティバル」(3.27・28) 【URL】https://www.tatemonoen.jp/</p>							

30	東京農工大学科学博物館 繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。						
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)、年末年始等	入館料	常設展無料	☎	042-388-7163
<p>●WEB企画展 「劔工寮葵町製糸場図面3D復元プロジェクト」を昨年度末から実施中です。展示模型の中を歩くような疑似体験や、図面を建物の実寸に合わせて設置するなど、従来の博物館展示では表現できなかった展示表現に挑戦しています。</p> <p>●SNSでの情報発信や360度デジタルビューなどを公開しています。(※clusterアプリのダウンロードが必要です。)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館中です。休館期間は変更になる場合がありますので、当館のWEBサイトをご確認ください。</p> <p>【URL】http://www.tuat-museum.org/</p>							

31	清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)12.29～1.3、※臨時休館(11月、12月)	入館料	無料	☎	042-493-8585
<p>●企画展・特別展 「第37回清瀬美術家展」(1.8～23)「はたおり伝承の会作品展」(3.5～13)</p> <p>●テーマ展示 「中里の万作(仮)」(1.4～) ●年中行事 小正月のまゆ玉飾り(1.8)</p> <p>●事業 野鳥観察会(2.5) 藍染教室(3.6) ミュージアムシアター(1.20/2.17/3.20) 節分の豆まきとやっかがし(1.30)</p> <p>●先人の知恵に学ぶシリーズ しめ縄作り講習会(12.25) 親子で郷土料理作り体験(3.26) 男のうどん作り(3.26) 【URL】http://www.museum-kiyose.jp/</p>							

32	多摩六都科学館 世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。						
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.28～1.3)、その他機器整備の休館あり(1.25～27)	入館料	大人520円、小人(4歳～高校生)210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型動物模型館	☎	042-469-6100
<p>●ミニ企画展「科学の本棚Ⅱ～科学と女性～」(11.5～12.5) たくさんある科学の本の中から、女性科学者について書かれた本、女性が書いた科学の本を集めました。</p> <p>●冬の特別イベント「ロクト・ロボットパーク」(12.25～27、1.4～10) ロボットを自分で正しく動かしたり、説明書を見ながらじっくり工作したり、たくさんのロボットとふれあって、キミもロボット達人をめざそう!</p> <p>●生解説プラネタリウム「シリウスってどんな星?」(11.30～1.30)</p> <p>●大型映像「星の旅 世界編」(～12.27) 【URL】https://www.tamarokuto.or.jp</p>							

多摩の博物館さんぽ 2021 年度秋・冬号(11月～3月 催し物案内) 8

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

1	奥多摩水と緑のふれあい館 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。						
開館時間	9:30～16:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日)12.28～1.4	入館料	無料	☎	0428-86-2731
<p>奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業なども展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <p>●現在館内でのイベントの開催は自粛しております。状況に応じて随時開催させていただきます。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閉館時間が午後4時で閉館となります。</p> <p>入館される方はマスクの着用並びに入り口で手指の消毒が必須となります。(消毒剤はアルコールを使用しております。)</p> <p>発熱等風邪のような症状のある方の入館はお断りしております。</p> <p>【URL】http://www.okutama.gr.jp/</p>							

2	檜原村郷土資料館 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。						
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日)年末年始	入館料	無料	☎	042-598-0880
<p>●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。</p> <p>●特別展「檜原村野鳥写真展」(2.6～3.6) 檜原村に生息する野鳥の写真約30点を展示します。</p> <p>【URL】http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html</p>							

3	青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)12.29～1.3	入館料	無料	☎	0428-23-6859
<p>●企画展「青梅の金融史～あおしん創立100周年～」(～12.19) 令和4(2022)年3月に、青梅市内に本店を置く「青梅信用金庫(あおしん)」が創立100周年を迎えることを機に行う企画展で、青梅市域を中心とした金融史をテーマに、明治期から昭和期にかけての金融機関の関連資料を展示し、その変遷などを紹介します。</p> <p>●企画展「青梅宿の文人・根岸典則～文芸サロンに集う人々～」(1.8～) 根岸典則は、縞買商の家に生まれ、青梅を代表する江戸時代後期の文人です。本展覧会では、根岸典則の作品や関連資料を展示し、典則の生涯や交流した文人たちを紹介します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応について</p> <ul style="list-style-type: none">・マスクを着用し、咳エチケットにご協力をお願いします。・発熱がある方、咳やのどの痛みなどの症状がある方は入館をご遠慮ください。・館内の休憩スペースや設備の利用を制限させていただいております。・館内の状況に応じて、展示室への入場制限等を行う場合があります。・会期中、状況に応じて、臨時休館させていただく場合があります。 <p>【URL】https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/</p>							

4	あきる野市五日市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法草案関係の資料を展示。						
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)年末年始(12.27～1.4)	入館料	無料	☎	042-596-4069
<p>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。</p> <p>●企画展「(仮)絵はがき」</p> <p>●ミニ企画展「郷土の古文書その34 飢饉の節稗貯えのための郷蔵建設請証文」(11月～令和4年3月)</p> <p>●年中行事(旧市倉家住宅) ・七五三展示(1.1月) ・正月飾り(1.2月～令和4年1月) ・まゆ玉飾り(令和4年1月) ・雛人形(令和4年2月～3月)</p> <p>【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</p>							

5	羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561
<p>●ミニ展示「玉川上水を調べよう!」(6.12～3.31) ●歴史講座「玉川上水と分水の歴史(仮)」(1.22)</p> <p>●特別展「土器と羽村-縄文時代のくらし-」(9.11～12.19) ●企画展「ひな人形展」(2.5～3.6)</p> <p>●歴史講座「歴史散歩 はむら神社めぐり」(11.28) ●企画展「東京の空襲資料展」(日程調整中)</p> <p>●季節かざり「お正月かざり」(1.4～1.10) ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、来館時のマスク着用及び手指の消毒・館内受付での来館者に対する検温、連絡先の記載にご協力をお願いいたします。</p> <p>●企画展「むかしのくらし」(1.4～1.23)</p> <p>●体験学習会「まゆ玉かざりをつくろう!」(1.9)</p> <p>●季節かざり「まゆ玉かざり」(1.10～1.16)</p> <p>【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>							

多摩の博物館さんぽ 2021 年度秋・冬号(11月～3月 催し物案内) 3

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

6	コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館） プラネタリウムと「遊び科学」「宇宙」などの参加体験型の展示。						
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜 9:00～12:00 は事前予約団体専用）	休館日	月曜日、火曜日、祝日の翌日、年末年始など（春・夏・冬休み期間は無休）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円（プラネタリウム料金別、セット割引有り）	☎	042-624-3311
●プラネタリウムでは「ポケットモンスター オーロラからのメッセージ」（12月25日まで）、「ヤドカリくん、ほしをみに」（1月中旬から）、「銀河鉄道の夜」、「かいけつゾロリ 宇宙たんけん大さくせん」（12月26日～1月10日）を投影。 「生解説プラネタリウム 星空散歩」季節の星座や天文現象を解説。（第二日曜、午後3時30分～） 「全編生解説プラネタリウム」10～12月のテーマは「金星」。（第四日曜、午後3時30分～） ※土日祝、冬休み、春休みのプラネタリウムは予約制です。ホームページからお申し込みください。 大人500円、4歳～中学生150円、3歳以下無料（毎週土曜日は中学生以下は無料） ●土日祝、冬休み、春休みには親子で楽しめる「工作教室」（予約制、HP申込）「実験ショー」などを開催。 ※展示物は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止中です。ご利用いただけません。 【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html							

7	桑都日本遺産センター 八王子博物館 日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。						
開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎	042-622-8939
桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）では、都内で唯一の「日本遺産」に認定されたストーリー、「靈気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を紹介しています。 原始・古代から未来へとつづく八王子の歴史と文化に出会える場所「はちはく」。桑都と呼ばれる八王子の魅力を発信し、市内各地の歴史文化へあなたを誘います。 【URL】 https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html							

8	集合住宅歴史館 （独立行政法人 都市再生機構） 歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。						
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制	☎	042-644-3751
●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。 ●展示内容 ・同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸” ・公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など ●見学方法 見学方法 事前予約制のため予め電話で申込みください。 ※集合住宅歴史館は、北区赤羽台への移転準備に伴い、令和3年度末（22.3.31）をもちまして閉館いたします。 【URL】 http://www.ur-net.go.jp/rd/							

9	福生市郷土資料室 福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳椀倉の復元展示も行っています。						
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始	入館料	無料	☎	042-530-1120
●特別展示「むかし絵画家 松下紀久雄の世界」（10.16～12.5） 松下紀久雄氏は、精緻な調査をもとに地域の歴史を描いた「むかし絵画家」として広く知られています。福生市郷土資料室は、松下氏のご家族から寄贈を受け、約540点の作品を所蔵しています。今回の展示では、多摩地域の歴史や史跡を描いた作品をはじめ、むかしの暮らしや商店、山や街の風景を描いた作品を紹介します。 ●企画展示「正月飾りとモノツクリ」（12.11～2.6） 福生をはじめ西多摩を中心としたモノツクリや、全国のミクノクチなど、正月に関連する資料の展示を行います。 ●企画展示「教科書から読み解く社会（仮）」（2.12～3.31 予定） 教科書が扱う題材を通して、そこに表象される時代精神やジェンダー観に迫ります。 【URL】 http://www.museum.fussa.tokyo.jp							

10	瑞穂町郷土資料館（けやき館） 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。						
開館時間	10:00～21:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることがあります）	☎	042-568-0634
●企画展「瑞穂の狭山茶」（10.9～12.5） 狭山茶は今から200年ほど前、瑞穂町・入間市域の人々によって作り出され、広まっていきました。展示では史料や道具などから、瑞穂町を中心に狭山茶の歴史をたどります。 ●特別展「和紙の灯り～なごみの灯り～」（10.31～12.26） 日本の伝統的な和紙を使い作られた“なごみの灯り”たちは、心安らぐ灯りをともしてくれのでしょうか。日々の喧騒を忘れ、ゆっくりと穏やかなひと時をお過ごしください。 ●企画展「ひなまつり展 2022」（2月中旬～3月初旬） 瑞穂町や周辺に伝わるひな人形やひなまつりにまつわる習慣などを紹介します。 【URL】 https://mizuhokyodo.jp							

多摩の博物館さんぽ 2021年度秋・冬号（11月～3月 催し物案内） 4

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

22	パルテノン多摩 多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。（※大規模改修のため2022年まで休館します）						
開館時間	-	休館日	大規模改修のため休館中です	入館料	-	☎	042-375-1414
●パルテノン多摩は、2022年にリニューアルし、3月末にプレオープン、7月にグランドオープンする予定です。 多摩市には、多摩ニュータウン開発によるさまざまな住宅や公園などの整備された街並みがある一方、従来からの暮らしで培われた貴重な文化や古くからの寺社や石仏、開発前の谷戸のくらしの名残である里山なども残されています。また、当館以外にも多くの博物館があり「知る」ことを楽しむことができる場所でもあります。新しいミュージアムは、この豊かな多摩市全体を博物館と見立てる「地域まるごと博物館」の入口となる施設として活動していきます。展示室では「まちの入口」として、街を新たな視点で再発見できる「メガネ（＝視点）」を手に入れ、市民学芸員やIT技術などで地域をつなぎ、地域を再発見し、愛着をはぐくみ、地域を考える手段を手に入れ、記憶を次世代へ継承します。展示では、新たに収集した多摩ニュータウン関連の資料や、新たに分かった研究成果の紹介などができる新資料もご紹介していきます。（詳細はホームページをご覧ください。） 【URL】 https://www.parthenon.or.jp/ 【Twitter】 http://twitter.com/par_tama_museum 【Facebook】 https://www.facebook.com/25thparthenon							

23	東京都立埋蔵文化財調査センター 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。						
開館時間	9:30～17:00（11～2月は遺跡庭園のみ16:30まで）	休館日	12.29～1.3（年末年始） 3.11～3.19（展示替え）	入館料	無料	☎	042-373-5296
●遺跡庭園解説会（12.5 午前～午後） ●遺跡発掘調査発表会 2021（3.19 午前） ●文化財講演会（考古学全般）①～③（12.18/1.29/2.5） ●企画展示解説会（3.30 午後） ●映像上映会（1.15 午後） ※この他の行事も開催を検討しております。詳細はホームページをご覧ください。 【URL】 https://www.tef.or.jp/maibun/ ●企画展示解説会④・⑤（3.5 午前・午後）							

24	町田市立自由民権資料館 多摩地域・武相地域の自由民権運動と町田の歴史を紹介。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始（12.27～1.4）	入館料	無料	☎	042-734-4508
●特別展「石阪昌孝—豪放磊落な民権家の生涯」（10.9～11.28） 石阪昌孝生誕180年、自由民権140年、開館35年を記念し、武相自由民権運動の最高指導者として活躍した石阪昌孝の生涯をたどり、幕末から明治を駆け抜けた石阪昌孝の個性と社会背景を紹介します。 ●民俗展「昔のくらしと運ぶ道具」（12.4～2.27） 農作業や養蚕などのさまざまな場面で使われていた運ぶ道具を中心に、昔のくらしを紹介します。なお、会場は「町田市三輪の森ビジターセンター」となります。 【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html 【Twitter】 https://twitter.com/machida_minken							

25	町田市民文学館ことばらんど 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介						
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は開館）、毎月第2木曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）、年末年始（12.29～1.4）	入館料	無料	☎	042-739-3420
●秋の企画展「開館15周年記念 浅生ハルミン ブック・パラダイス展 — 猫と古本を愛してやまないあなたに」（10.23～12.26） エッセイスト、イラストレーターなど多方面で活躍する浅生ハルミンさんの、(本) や〈ことば〉に関する創作活動を紹介する展覧会です。 ●冬の企画展「57577」展（2022.1.29～3.27）〈短歌〉に綴られる〈ことば〉を通して、展覧会場でしか体験できない双方向のコミュニケーションを試みます。 【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html 【Twitter】 https://twitter.com/machida_kotoba							

26	府中市郷土の森博物館 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。						
開館時間	9:00～17:00（入場は16:00まで）	休館日	11月：毎週月曜・11・12、12月：毎週月曜・火曜、年末年始:12.29～1.4、1月:11・17・18・24、3月:7・8・14・22・28	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料	☎	042-368-7921
●企画展「町役場の新築と大正時代の府中」（～3.13） 園内の復元建築物・旧府中町役場（東京都指定文化財）が新築された大正時代にスポットを当て、府中の街の様子とともに、町役場の歴史を紹介します。 ●ミニ展「東京最古の寺院・多磨寺」（～12.12） 武蔵国多磨郡の郡名寺院にスポットをあて、瓦・硯などを展示しています。 ●ミニ展「梅にウグイス？」（1.29～3.6） 園内の梅花に集まる野鳥を紹介します。 ●プラネタリウム冬番組（12.1～3.6） 「星空旅行～世界の名所編～」ほか ●梅まつり（1.29～3.6） ※本館天井改修工事に伴い、令和4年3月まで常設展示室は休室中。プラネタリウムは11.30まで日曜日・祝日のみ放映、12.1～3.6は平日・土曜日も放映します。 【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html 【Twitter】 https://twitter.com/kyodo_no_mori							

多摩の博物館さんぽ 2021年度秋・冬号（11月～3月 催し物案内） 7